



令和2年度の 主な事業

第2次湯沢市総合振興計画の5つの基本目標ごとに、今年度の主な事業をお知らせします。

第1章

みんなの信頼で築く丈夫なまち

関わる全ての人の共創と協働により、信頼される丈夫なまちへ育てます。

移住・定住促進事業 (12,560千円)

移住コーディネーターによるきめ細かい支援と魅力情報の発信を行うとともに、東京圏などからの移住者への補助金や空き家改修費助成、若者への奨学金返還助成などで移住・定住を促進します。また、関係人口の構築のため、体験型交流促進ツアーなどを実施します。さらに、官民が連携して地域課題の解決を目指す「リビングラポプロジェクト」を推進します。

⇒令和2年3月までに移住した世帯数：33世帯



ふるさと納税推進事業 (199,877千円)

「雪下ろし代行サービス」などの課題解決型返礼品や、他自治体に先駆けて実施したガバメント・クラウドファンディングによる起業家支援など、本市の個性を生かしたこれまでの取り組みが共感を得て、寄附額は年々増加しています。今年度は、休眠楽器を小・中学校へ贈る「楽器寄附ふるさと納税」を新たに始め、「音楽のまち“ゆざわ”」を推進します。

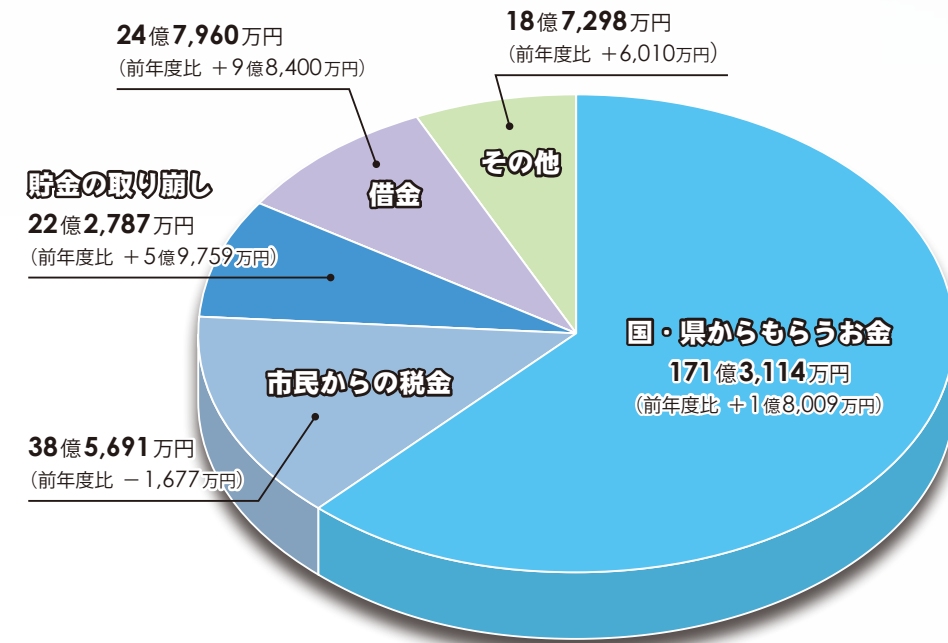
⇒令和2年度目標：寄附件数31,000件
寄附金額400,000千円

未来投資型人材育成事業 (4,348千円)

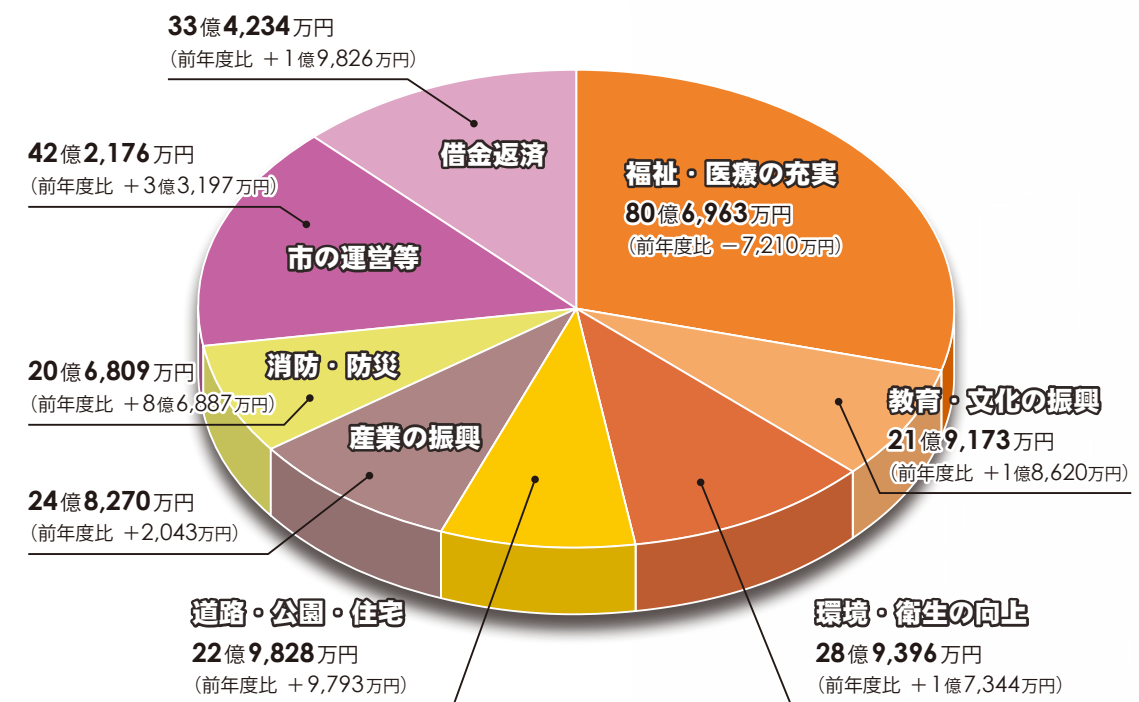
地域の未来を担う若者の視野を広げ、「自ら未来を切り拓く力」を持った人材の育成を図る事業を行います。財源は、ふるさと納税でいただいた寄附金とし、市を応援してくれる支援者（寄附者）と地域が一体となって取り組む人材育成施策として推進します。

令和2年度当初予算は、災害等に備えるための防災行政無線の整備工事費6億8,270万円や、防犯灯のLED化工事費2億6,378万円などの事業費の増、借入金の返済が33億4,234万円となり前年度から約2億円増額となったことなどから、予算額は前年度と比べて18億500万円の増となりました。

収入 合計 275億6,850万円 (前年度比 +18億500万円)



支出 合計 275億6,850万円 (前年度比 +18億500万円)



※各項目の数値は、表示単位未満を四捨五入しているため合計が一致しない場合があります。

令和2年度

一般会計

当初予算

第4章 あたたかな心と豊かな文化で人が集うまち

第4章

「地域づくりは人づくりから」という視点に立ち、郷土の歴史や文化に対する理解を深め、将来を担う人づくりを積極的に進めるとともに、人が集うまちへ育てます。



■ 小学校統合事業 (104,913千円)

児童数の減少に伴い、将来を見据えた望ましい学校規模と学校配置を確保し、安全で豊かな教育環境を実現するため、小学校の統合に向けた準備を行います。
⇒湯沢西小学校スクールバス購入、車庫建築など (76,831千円)

■ 学校用パソコン更新事業 (108,743千円)

プログラミング教育の実施のほか、普通教室などでもパソコンを使った授業を行えるよう、機器の整備とネットワーク環境の改善を行います。
⇒校内ネットワークの改修 (57,740千円)、学習用パソコンの更新および既存機器リース料 (41,793千円)

■ 小学校エアコン整備事業 (9,896千円)

近年の記録的な猛暑に対し、児童が夏場でも安全に学習に取り組むことができる環境を整えるため、令和3年度に小学校(普通教室、特別教室等の必要箇所)へエアコンを設置するための実施設計を行います。
※中学校は令和4年度の設置を予定しています。

第2章 健康と暮らしを共に支え合う笑顔があふれるまち

第2章

子どもからお年寄りまで、地域の全ての人が支え合い、健康で、生き生きと暮らせる共生のまちへ育てます。



■ 出産おめでとう事業 (8,606千円)

出産時に贈呈している30,000円分のクーポン券に加え、新たな出産祝い品として、市の特産品である曲木を使った椅子に赤ちゃんの名前を刻印して贈呈します。
⇒曲木の椅子の購入 (2,358千円)

■ 福祉医療給付費 (374,061千円)

中学生以下の子ども、ひとり親家庭の児童、心身障がい者の医療費の一部負担金について助成していますが、今年度は子育て世代への支援を拡大し、8月からは全ての子どもが中学生まで無料で医療を受けることができます。
⇒給付拡大分 (3,831千円)

■ 皆瀬診療所費 (61,777千円)

令和元年6月から常勤医師が着任したことに伴い、地域に密着した診療所としてより多くのかたがたに利用していただけるよう、医療設備を拡充します。
⇒内視鏡(胃カメラ)システム、骨密度測定装置ほか (17,904千円)

第5章 豊かな自然が輝く安全で暮らしやすいまち

第5章

市民の安全・安心を確保し、「暮らしやすさ」の実感を高めることで、ここに暮らすこと自体を誇れる、長く暮らしたいと思えるまちへ育てます。

■ 災害時等情報伝達体制整備事業 (682,695千円)

災害時など、市民および市内に滞在されているかたがたに、緊急情報を知らせるための新たな情報伝達手段として、昨年度に引き続き防災行政無線の整備事業を行います。
(令和元年度予算 385,708千円)

■ 防犯灯LED化事業 (263,780千円)

現在使用している「水銀ランプ」が令和2年をもって製造禁止となった後も安心・安全な環境を提供できるよう、市内に6,670灯ある防犯灯をLEDランプへ更新します。また、LED化により、年間約3千万円かかる防犯灯の電気料金について、50%以上の削減を目指します。

■ 地熱開発推進事業 (1,551千円)

現在、上の岱地熱発電所、山葵沢地熱発電所の2つの地熱発電所が稼働しているほか、3件の開発調査が進められており、今後の発電事業化が期待されます。国内でも有数の地熱賦存地帯である本市の特徴を生かした地熱活用を推進し、地熱開発が地域の理解を得ながら円滑に進むよう支援を行っていきます。

■ 湯沢駅周辺複合施設等整備事業 (1,126千円)

公共施設の複合化・多機能化による市民サービスの向上や、にぎわい創出による中心市街地の活性化を図るため、湯沢駅周辺への複合施設整備に併せて民間活力の導入を目指し、先行事例調査や基本計画策定に向けた情報収集などを行います。

第3章 ふるさとの技が光る、存在感あふれるまち

第3章

市民所得の向上と若年層を中心とした定着促進のために、起業支援や雇用の創出とともに、地域資源とふるさとの技によってYUZAWAブランドを育てます。



■ ビジネス支援センター事業 (26,405千円)

ビジネス支援センター「ゆざわ-Biz」において、売り上げ拡大を中心とした相談に対応し、「販路の拡大」「新商品の開発」「新分野への進出」を推進して販売力の強化と収益性の向上を目指すとともに、雇用の創出、事業承継を促進し地域経済の活性化を図ります。

■ 有害鳥獣対策事業 (8,201千円)

人的被害の未然防止、農作物等被害の防止・軽減を図るため、ツキノワグマやイノシシ等対象鳥獣の追い払いや駆除等を行います。
⇒有害鳥獣駆除のための罠の餌、弾代など活動への支援、実施隊報酬、捕獲用罠や檻の購入など

■ 園芸拠点施設等整備事業 (147,539千円)

水稻に偏重しない経営体系の確立と農家所得の向上のため、関口地区に形成する「せり」「ねぎ」のメガタイプ園芸団地の整備に要する費用の一部を助成し、生産拡大を支援します。